

父 ロージズインメイ
メス 栗毛 2017年6月14日生まれ コスモヴェューファーム



*ロージズインメイ
Roses in May (USA)
青鹿毛 2000年

ラヴァリーフリッグの17
メス 栗毛 2017.6.14

ラヴァリーフリッグ
栗毛 1999年

デヴィル ヒズ デュー Devil His Due (USA) 黒鹿毛 1989年	デヴィルズ バッグ Devil's Bag	Halo Ballade
テル ア シークレット Tell a Secret (USA) 黒鹿毛 1977年	ブレンティ オートウール Plenty O'Toole	Raise a Cup Li'l Puss
マールバラスサンデー 栗栗毛 1992年	スピーク ジョン Speak John	Prince John Nuit de Folies
	シークレット リトリート Secret Retreat	Clandestine Retirement
	*サンデーサイレンス Sunday Silence	Halo Wishing Well
	モミジダンサー	*ヴァイスリーガル *モミジII
*ユウワプリティ Yuwa Pretty (USA) 栗毛 1986年	ニーヴァス Naevus	Mr. Prospector Mudville
	カロス テューン Caro's Tune	Caro Piper's Tune

Halo 4S×4D, Princequillo 5S×5D, Raise a Native 5S×5D

母 系

母ラヴァリーフリッグ(99 マーベラスサンデー)南関東(公)6勝, マリーン C-JPN3(D1600m), 桜花賞(D1600m), 東京2歳優駿牝馬(D1590m), ロジータ記念(D2100m), ローレル賞(D1600m), トウインクルレディー賞(D1590m), かしわ記念-JPN22着, スパーキングレディー C-JPN32着, 関東オークス-JPN33着, T C K女王杯-JPN35着, クイーン賞-JPN35着, 岩手(公)1勝, ひまわり賞(D1900m), 北海道(公)2勝, エーデルワイス賞-JPN35着。本馬は第10仔。産駒
ラヴァリーウィッチ(07牝鹿*アルカセット)1勝, 兵庫(公)1勝
ラヴァリーシーク(08牝栗*ムーンバラッド)東海(公)7勝
マイネラヴァリーノ(10牝栗*ブライアンズタイム)石川(公)2勝
コスモラフム(13牝栗*コンデュイット)佐賀(公)7勝, 初夏賞3着, ⑩
ラヴバインド(15牝鹿ショウナンカンパ)1勝, ⑩
祖母*ユウワプリティ Yuwa Pretty(86 Naevus)米国産, 北米入着。産駒
エイコーウェルズ(牝*カコイーシーズ)東海・南関東(公)13勝
ユーワレインボー(牝*ラブシイ)東海・南関東(公)7勝
ホクセイジャンボ(牝*ルシオン)岩手・山形・石川・北関東(公)7勝
クールジョオウ(牝*カコイーシーズ)兵庫(公)3勝
曾祖母カロズ テューン Caro's Tune(79 Caro)北米1勝。産駒
ウェスタリー テューン Westerly Tune:北米5勝
四代母パイパーズ テューン Piper's Tune(62 Princequillo)北米7戦。産駒
カクテル Coquetel:北米10勝
五代母ハイランド フリング Highland Fling(50 By Jimminy)不出走。産駒
ソードダンサー Sword Dancer:米年度代表馬, 北米15勝, ベルモント
S, ジョッキークラブゴールドC, ウッドワードS(2回)。種牡馬
サン タータン Sun Tartan:北米2勝。産駒
サンタン シュー Suntan Sue:仏1勝, クロエ賞-G34着
ハイランドヒルズ Highland Hills:北米入着。産駒
ナスティカブ Nasty Cub:北米21勝, Tondi H
ワフー プリンセス Wahoo Princess:北米1勝。キャッチザフォン
Catch the Phone(アクサーベン オークス-G32着)の母

母の父

マーベラスサンデー
新冠産, 最優秀古牡馬, 10勝,
宝塚記念-JPN1(2200m), 大
阪杯-JPN2(2000m), 京都大
賞典-JPN2(2400m)。主な産
駒 シルクフェイマス(日経新春
杯-JPN2), ネヴァブション(ア
メリカJCC-G2), スマートギア(中
日新聞杯-G3)。母の父としてレ
ッソゴードンキ(桜花賞-G1, 京都牝
馬S-G3, 高松宮記念-G12着2
回), ジャジャウマナラシ(兵庫ジュ
ニアグランプリ-JPN2), エンブ
リオ(きさらぎ賞-G33着)を出す



CHECK POINT

母は地方重賞勝ち、かしわ記念では勝ち馬スターリングローズから0.1秒差の2着、30戦9勝と好成績を収めました。長く活躍し、2億円以上稼ぎました。体重500kgを超す大きな馬体は産駒にも遺伝しており、大き過ぎて体を持て余してしまう仔もいました。しかし、今回は違います。本馬は今までの産駒の中で一番歩きが良いです。手先まで力が入っている印象を受けます。体格の大きさもありますし、お尻も大きくてパワーがありそうです。父の産駒は成長力がありますし丈夫です。末永くダートで活躍してほしいです。

